



## 「成すことによって学ぶ」

2学期も後半に入りました。9月3日には「お月見集会」が実施されました。本校の教育方針の中に、「日本を身近に感じさせる視点から、補習校行事や保護者会活動、日本人会との交流を通して、四季折々に、日本の文化や伝統行事を体感させるよう努める。」とあります。7月には保護者委員の皆様や先生方のご協力で笹や短冊が準備され、素敵な「七夕」が実施されました。

9月3日の「お月見集会」では、児童会の子どもたちが、日本の「お月見」について調べ、クイズ形式でプレゼンテーションを使いなが、しっかりと発表していました。発表を聞いていた子どもたちからは笑みがこぼれ、笑い声も聞こえてきました。(Zoomを通して私も笑顔になりました。)

引き続き今週の10日(今年は10日が十五夜だそうです。)には保護者委員の皆様が団子を作ってください、子どもたちに配っていただけると聞いております。本当にありがたく嬉しいことです。



子どもたちは行事を通して成長するといえます。補習校でも「入学式・卒業式」「各学期の始業式・終業式」「七夕」「お月見集会」「補習校祭り」「音読集会」「節分」「かるた大会」「ひな祭り」が実施されます。

今年度の教育方針で大切にしていることの一つとして、特別活動の「児童・生徒会活動、補習校行事等の充実を図る。」を掲げました。



特別活動のめざす「成すことによって学ぶ」教育活動を大切に、学級での指導の時間【昼の会や帰りの会、中学部は学級活動の実施(20分)等】を通して、国語・算数(数学)・社会の教科と連携しながら日本の伝統文化や補習校行事等に取り組み、学級集団づくりを行っていきたいと思います。

学校行事が実施された授業日には、お子様に「今日の集会はどうだった」「今日の行事はどうだった」と聞いていただければと思います。きっと「楽しかったよ」「勉強になったよ」という言葉が返ってくると思っています。

